

福島地方環境事務所の最近の動き (今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です
- ・大熊町大川原地区・中屋敷地区の避難指示が 4 月 10 日に解除されました。
同地区における面的除染は、2013 年 6 月～2014 年 3 月に実施されたものです

○ 中間貯蔵施設関連

- ・土壌貯蔵施設の近況をお知らせします
- ・大熊 IC が 3 月 31 日に開通したことを受け、中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に利用を開始しました

< 除去土壌等の輸送の進捗状況（4/9 時点） >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 400 万 m ³	約 7 万 m ³	約 1.7 %
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 269.4 万 m ³	約 19.2 %

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です

○ その他のイベント関連等

- ・「富岡町桜まつり 2019」に出展しました（4/6）
- ・4 月 14 日から 18 日までの 5 日間、新宿御苑にて、「富岡町桜まつり 2019」に出展した桜のオブジェを展示いたしますので、ぜひお立ち寄りください

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。

詳細は別添 1、3 のとおり

- ・大熊町大川原地区・中屋敷地区の避難指示が 4 月 10 日に解除されました。
同地区における面的除染は、2013 年 6 月～2014 年 3 月に実施されたものです。

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1 のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 4 のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

（1）最近の動き

- 土壌貯蔵施設の近況を、写真を用いてお知らせします（別添 5）。
大切な土地をご提供くださった地権者の皆様に心より感謝申し上げます。

○ 除去土壌等の輸送の進捗状況（4/9 時点）

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 400 万 m ³	約 7 万 m ³	約 1.7 %
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 269.4 万 m ³	約 19.2 %

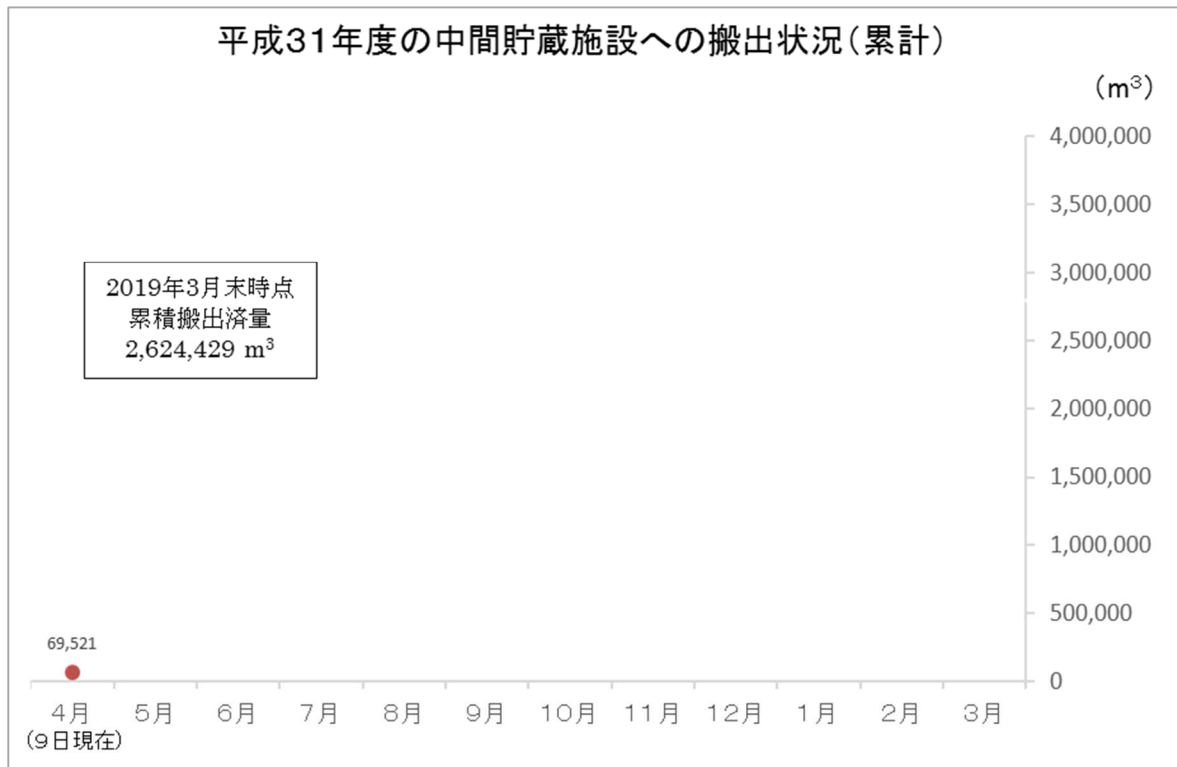
※大熊 IC が 3 月 31 日に開通したことを受け、中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に利用を開始しました。

(2) 平成 31 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(4 月 9 日までの搬出実績)

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	50,000	10,000	437	56,376
	相馬市	39,000		1,887	35,148
	南相馬市	274,000	8,000	3,081	148,782
	広野町	67,000		1,616	47,070
	楡葉町	149,000		4,264	124,334
	富岡町	406,000		4,236	215,510
	川内村	96,000		1,429	60,120
	大熊町	342,000		8,484	192,589
	双葉町	312,000		0	152,573
	浪江町	353,000		1,864	167,595
	葛尾村	168,000		3,808	102,634
	飯館村	395,000		5,110	184,135
中通り	福島市	198,000	78,000	6,815	123,775
	郡山市	153,000		4,554	202,966
	白河市	63,000		1,733	69,868
	須賀川市	53,000		2,496	51,501
	二本松市	113,000		2,794	101,058
	田村市	101,000		1,472	80,089
	伊達市	85,000	4,000	2,015	85,368
	本宮市	58,000		714	46,667
	桑折町	43,000		1,928	40,201
	国見町	39,000		1,564	30,079
	川俣町	163,000		4,699	88,291
	大玉村	26,000		872	26,133
	天栄村	34,000		665	26,993
	西郷村	125,000		618	80,801
	泉崎村	18,000		294	27,567
	矢吹町	10,000		72	21,773
	三春町	47,000		0	44,674
合計		3,980,000	100,000	69,521	2,693,950※



- ※ フレキシブルコンテナ等 1 袋の体積を 1 m³と換算しています。
- ※ 輸送対象物量 1,400 万 m³は、中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018 年 11 月末、市町村除染市町村：2018 年 9 月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018 年 11 月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018 年 11 月末時点、市町村除染：2018 年 9 月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018 年 11 月末時点、市町村除染：2018 年 9 月末時点））の合計量。
- ※ 輸送対象物量 1,400 万 m³には、10 万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。
- ※ 累積搬出済量の合計値には、2019 年 3 月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。

- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

(1) 最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）等を実施中です。
- 研修会への専門家派遣等、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。

(2) これまでの実施状況

(4月12日時点)

項 目		実施回数	
		H30 年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	36 回	0 回
	(イ) 専門家派遣	20 回	0 回
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	38 回	0 回
	(イ) 車座意見交換会	57 回	1 回
	(ウ) 個人線量測定の支援(WBC)	87 日	0 日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	180 台・日	公示準備中
③環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	(ア) 専門家派遣	152 件	3 件
	(イ) 移動展示	45 件 [62 日]	3 件 [3 日]

Ⅳ. その他のイベント等関連

○ 最近の動き

4月6日に富岡町で開催された「富岡町桜まつり 2019」に出展しました。

環境省のブースでは、環境再生プラザ等の移動展示を行うとともに、来場者に桜の花の形のカードを配り、町やまつりへのメッセージを記載していただきました。400枚以上のメッセージが集まり、メッセージで満開のオブジェが完成しました。

また、展示した桜のオブジェについては、4月14日から18日までの5日間、新宿御苑でも展示いたしますので、ぜひお立ち寄りください。

詳細は別添6のとおり

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	○平成 30 年度南相馬市仮置場復旧等工事 (H31/1/23～) ※H31. 2 月に着工
浪江町	○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 1) (H30/6/20～) ※H30. 8 月に着工 ○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 2) (H31/1/29～) ※H31. 2 月に着工 ○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中
双葉町	○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 2) (H30/1/10～) ※H30. 2 月に着工 ○平成 31 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 3) (H31/4/11～) ※着工準備中 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中
大熊町	○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 1) (H30/1/25～) ※H30. 3 月に着工 ○平成 30 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 2) (H31/1/24～) ※H31. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中
富岡町	○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事 (その 1) (H30/8/7～) ※H30. 8 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中
楡葉町	○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 楡葉町仮置場復旧等工事 (H30/7/5～) ※H30. 8 月に着工

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

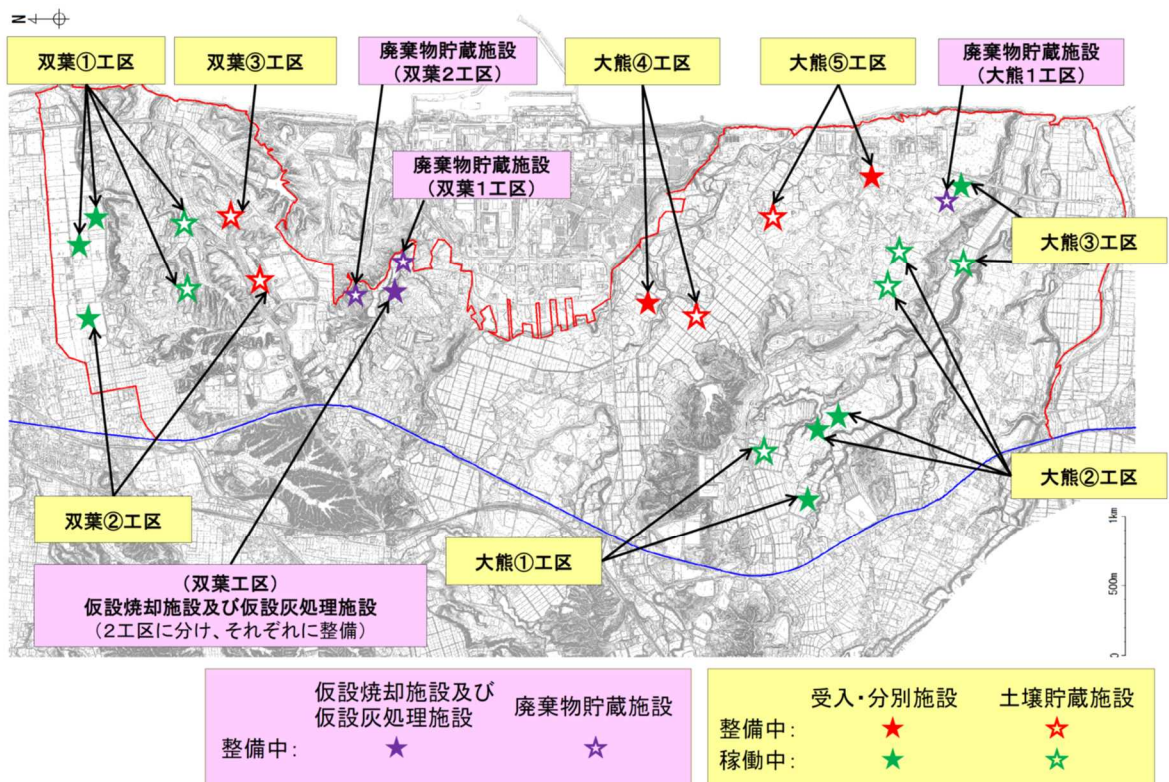
市町村	工事名
飯舘村	<u>○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事（H30/9/5～）</u> ※H30. 9 月に着工 <u>○平成 31 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事（H31/4/8～）</u> ※着工準備中 ○平成 31 年度飯舘村仮置場復旧等工事（H31/4/8～） ※着工準備中 ○被災家屋等の解体撤去申請（特定復興再生拠点区域）を受付終了
川俣町	○平成 30 年度川俣町仮置場復旧等工事（その 2）（H31/3/1～） ※H31. 3 月に着工
葛尾村	<u>○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去等及び除染等工事（H30/10/9～）</u> ※H30. 11 月に着工 <u>○平成 31 年度葛尾村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事（H31/4/8～）</u> ※着工準備中 ○被災家屋等の解体撤去申請（特定復興再生拠点区域）を受付中

（注）下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（2017/5/11～） ※2018.9 月分別処理、貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（2017/5/18～） ※2019.2 月分別処理開始、来年度春に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（2017/5/11～） ※2018.7 月分別処理、貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（2017/5/11～） ※2018.7 月分別処理、貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（2017/5/18～） ※2018.7 月分別処理開始、10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設工事（2018/4/6～） ※2018.9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（2018/4/5～） ※2018.12 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（2018/4/10～） ※2018.10 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（双葉町）（2019/1/10～） ※2019.3 月分別処理開始（双葉①工区）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（大熊町）（2019/1/10～） ※2019.3 月分別処理開始（大熊①工区）
廃棄物関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（2018/3/1～） ※2019.1 月に着工、2019 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（2018/3/1～） ※2019.1 月に着工、2019 年度内に稼働予定

	工事名
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（2018/3/9～） ※2018.6 月に着工、2019 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（2018/3/8～） ※2018.7 月に着工、2019 年度内に稼働予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）廃棄物貯蔵施設工事（2019/3/11～）
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （2017/12/23～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（2018/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（2018/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （2018/10/25～）
	○平成 30 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （2018/12/22～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（双葉町）（2019/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（大熊町）（2019/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（双葉町） （2019/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（大熊町） （2019/1/19～）

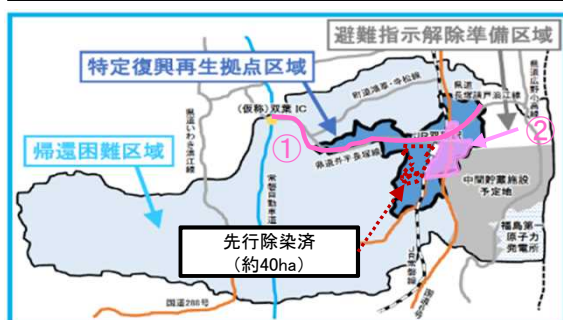


特定復興再生拠点区域整備の状況 (2019年4月12日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

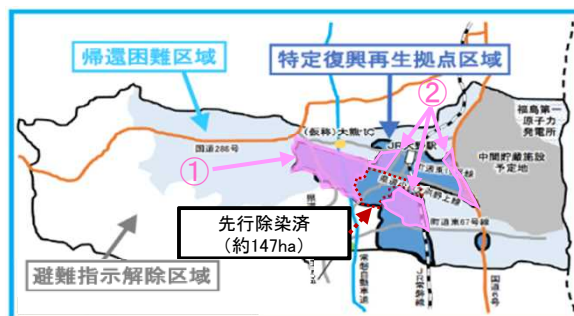
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】:2017.12.25着工

- ①復興シンボル軸(解体55件、除染約7ha): 実施中
- ②駅東地区(解体640件、除染約90ha): 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】:2018.3.9着工

- ①下野上西地区(解体460件、除染約160ha): 実施中
- ②駅周辺西地区、国道6号線沿線、下野上南地区(解体300件、除染約140ha): 実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】:2018.5.30着工

- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha): 完了
- ②室原、末森、津島地区(解体160件、除染約290ha): 実施中

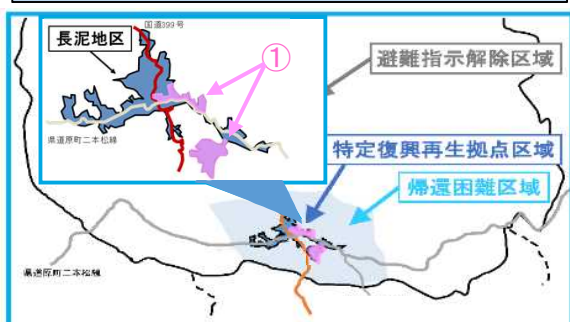
富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】:2018.7.6着工

- ①夜ノ森駅周辺(除染約0.3ha): 完了
- ②拠点北地区(解体300件、除染約80ha): 実施中

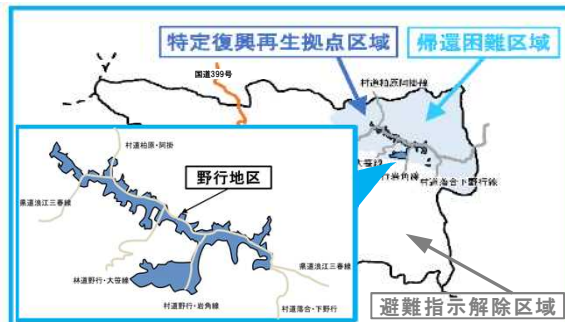
飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



【工事状況】:2018.9.28着工

- ①長泥地区の居住促進ゾーン(解体20件、除染約30ha): 実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】:2018.11.20着工

- ①野行地区(解体10件、除染約0.5ha): 実施中

※ 一部周辺地区においても解体・除染工事等を実施中

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 31 年 4 月 12 日

【最新の進捗状況】

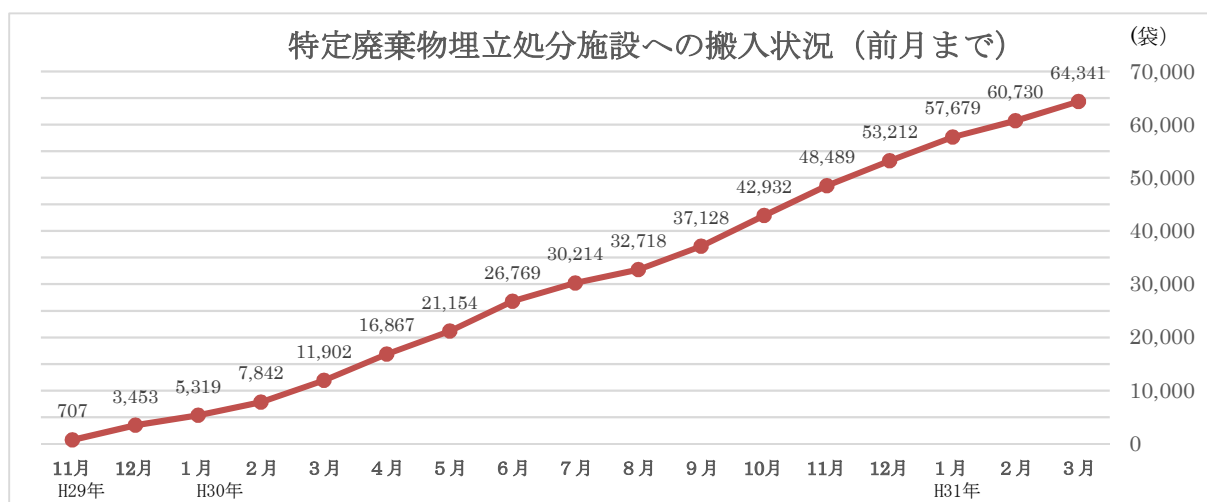
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
4 / 3 ~ 4 / 9	969	65,843

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月～平成 30 年 2 月	7,842	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月	2,504	32,718
平成 30 年 9 月	4,410	37,128
平成 30 年 10 月	5,804	42,932
平成 30 年 11 月	5,557	48,489
平成 30 年 12 月	4,723	53,212
平成 31 年 1 月	4,467	57,679
平成 31 年 2 月	3,051	60,730
平成 31 年 3 月	3,611	64,341
平成 31 年 4 月(9 日まで)	1,502	65,843



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

中間貯蔵施設の近況

別添 5

大熊工区の施設

貯蔵量は、運搬した除去土壌の重量から推計した締固め後の容積



大熊 2 期①工区土壌貯蔵施設（2019. 3. 26撮影）
2019年 3 月の貯蔵量：約1.8万 m^3 （累計約9.8万 m^3 ）



大熊 1 期②工区及び 2 期②工区土壌貯蔵施設
（2019. 2. 18撮影）
2019年 3 月の貯蔵量（第 1 期施設/第 2 期施設）
：約1.4万 m^3 /約2.5万 m^3
（累計約12.5万 m^3 /約14.4万 m^3 ）



大熊 2 期③工区土壌貯蔵施設（2019. 3. 26撮影）
2019年 3 月の貯蔵量：約1.5万 m^3 （累計約5.8万 m^3 ）

双葉工区の施設



双葉 1 期①工区土壌貯蔵施設（2019. 2. 26撮影）
2019年 3 月の貯蔵量：約0.7万 m^3 （累計約3.4万 m^3 ）



双葉 2 期①工区土壌貯蔵施設（2019. 3. 22撮影）
2019年 3 月の貯蔵量：約0.3万 m^3 （累計約4.0万 m^3 ）



双葉 2 期②工区土壌貯蔵施設（2019. 3. 18撮影）
建設中

大切な土地をご提供くださった地権者の皆様に心より感謝申し上げます。

- ・ 4月6日（土）に富岡町で開催された「富岡町桜まつり2019」に出展しました。
- ・ 会場では、富岡町ゆかりの歌手によるステージイベントやふるまいのほか、桜並木の下で行う「YOSAKOI・郷土芸能」、写真家渡部陽一さんによる写真撮影会が行われ、たくさんの方が来場し、大いに賑わいました。
- ・ 環境省のブースでは、環境再生プラザ等の移動展示を行うとともに、来場者に桜の花の形のカードを配り、町やまつりへのメッセージを記載していただきました。400枚以上のメッセージが集まり、メッセージで満開のオブジェが完成しました。
- ・ 製作したオブジェは4月14日から18日の5日間、新宿御苑八重桜ライトアップイベントに展示されたあと、4月20日から富岡町の文化交流施設に展示される予定です。

当日の様子



会場付近の桜並木



環境省ブース内でのメッセージカードづくり



メッセージで作った桜のオブジェ



400以上のメッセージが集まりました